

日曜日礼拝順序

2019年3月3日 午前11時 南部チャペル

前奏		鈴木義兄
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
讚美	賛美歌1 “神のちからを	とこよにたたえん”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		一同
	マタイによる福音書5章3-10節	
讚美	賛美歌239 “さまよう人々	たちかえりて”
説教	“主イエスのみことば 1”	Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌354 “牧主、わが主よ、	まよう我らを”
献金		下竹由美子姉
讚美	賛美歌205 (1-2節)	
聖餐式		Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌205 (3-4節)	
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		鈴木義兄

(礼拝終了:奉仕開始)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

憩いの場

“主にある誇り”

“誇る者は、主を誇るべきである。” (コリント人への第二の手紙10章17節)

私は新興住宅地で、めばしいものがない町で育ったので、町の誇りがある場所というのはとても興味深く思えます。以前、バッファローという町に住んでいた時に、その町にはスポンジキャンディーというものがありました。いわゆるトフィーと似た、町独特の食がべ物だそうです。今は経済的に栄えているとは言えなくても、彼らにはそういった食べ物をはじめ、町の歴史に誇りがあるようでした。誇りというのは面白いもので、別の場所や時代に行くとまるで無意味になってしまうこともありますが、独自性を保つ、という点では、害がないかもしれません。

しかし、第二コリント書10章でパウロが書いている誇りとは、人を縛り付ける、不自由にする誇りのようです。彼は“仲間同士で互いにはかりあったり、互いに比べあったりしてるが、知恵のないしわざである”と12節でも書いていますが、そういった誇りがコリントの人々を不自由にしているのを見て、誇る者は主を誇るべきである、と教えました。誇るあまり、人を見下すのは無意味であり、私たちは主イエスキリストにあって、限りないそのご栄光と恵みを受けている側です。ほめたたえられるべき方は、わたしたちではなく、救いを与えてくださった主イエスキリストで、教会で人々が証しをするのはそのためです。信徒である私たちは主を誇り、主をたたえて生きていくことができますように。

(Scroggins 由紀)

記事: 消息

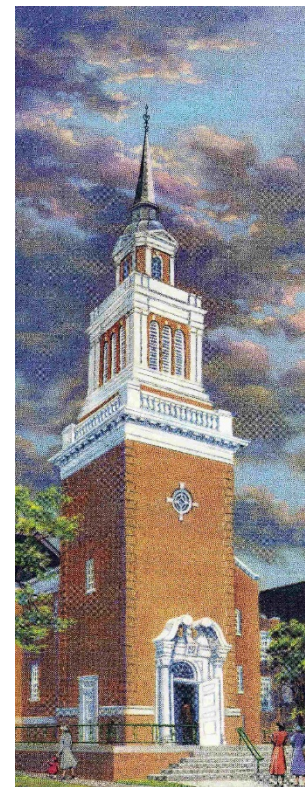
— 陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、Chieko Dano 姉、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron Barlow 兄、Donna Barlow 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

お知らせ

— 3月10日は Daylight Saving Time が始まる日です。皆さん、時間に気を付けて礼拝にご出席ください。

— 3月17日はリトリートが前回と同じく Encounter Point にて行われます。礼拝は午前11時からですが、場所は午前10時30分より開いていますので、早めに来られても大丈夫です。またランチも出ますので、親睦の時間を持つこともできます。日本語部メンバー以外で、出席をご希望の方は、由紀牧師までご連絡ください。参加費は無料です。

発行: 2019年2月27日 ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200



週報

第3711号
2019年3月3日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200
Web: www.northshorebaptist.org